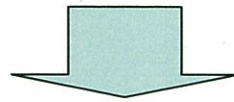


観光産業への影響

【直接被害】

宿泊施設・観光施設等の被害額 推計 約7億円



零細な事業者が多く、再建のための公的支援が必要

【間接被害】

懸命の復旧作業により、観光地への主要なアクセスが確保されたにもかかわらず、和歌山県の観光地に行くことはできないとの風評が流布し、観光地の宿泊予約が激減(対前年比 約8割減)



官民一体となった、正確な情報提供と、
誘客のためのキャンペーン、プロモーション活動が必要

農林水産業再建に向けての課題

【農業】

○国の災害復旧事業対象とならない農地等の復旧については、農家負担が大きく、離農者が増大するおそれがある。

- ①傾斜が20度を超える農地の復旧
⇒日本一の生産量を誇る本県の梅は、農地の約3割が20度を超える。
- ②被災樹園地への果樹苗木の植栽
- ③農地に堆積した土石の除去
- ④小規模(事業費40万円未満)の農業用施設の復旧
- ⑤個人所有の農業用ため池の復旧
- ⑥農業機械、農業用ハウスの復旧 など

【漁業】

○河川から大量の流木や瓦礫等が漁場内に浮遊・堆積し、漁業に支障が生じているが、漁業者が負担することは困難である。

・漁場内のゴミ約2万m³、回収処理費約4億円

大規模災害に備えた幹線道路ネットワークの整備

今回、無傷だったのは高速道路のみ



◆国道42号 冠水 白浜町



◆国道42号 越波 すさみ町



◆国道168号 冠水
新宮市熊野川町



◆国道168号 崩土
新宮市高田

今回の災害を踏まえて

○豪雨時の防災体制の見直し

- ・避難場所の見直し
- ・防災無線設置場所の見直し
- ・雨量、河川水位のシミュレーション

○あらゆる災害に強い県土づくりの推進

- ・大規模災害に備えた幹線道路ネットワークの整備
- ・災害予防のための重点的インフラ整備